



CHANGE MAKER JOURNAL

チェンジメーカージャーナル



本校は、「時代の変化・地域の課題に対応した新たなタイプの学校」として、2023年4月にリニューアルしました。この通信では、犬総の特色ある科目である、1年生「産業社会と人間」2年生「地域探究I」3年生「地域探究II」を中心に、校内外でのさまざまな学びの様子をお届けします。

産業社会と人間～1年～

🔍 学習内容 (12月-1月)

行政の協力を得て、地域の課題を調べながら、解決のために何ができるかを考える探究に取り組んでいます。

テーマ	犬山市役所連携課
デジタルを活用した地域活性化	情報政策課
シェアリングエコノミー ～シェアエコで提供する新サービスを考えよう！～	企画広報課
防災で考えるまちづくり～地域での防災意識を高めるには？～	防災交通課
犬山をPRしよう！～犬山をずっと住みたい街にするために～	企画広報課



防災＊ライフジャケットデコレーション

📌 取り組むにあたって

市役所のみなさんの力を借りて、地域の課題を自分で見つけ、解決を考える探究がはじまっています。「誰の、どんな困りごとを、なぜ今、解決にむかうのか？」を心に置いて取り組んでみましょう。行政の視点にふれると、課題の背景やルールも見えてきます。そこであなたのアイデアは具体的に誰を幸せにするのか、より一歩深く考え、まちづくりに“自分事”として関わる力を育てていきましょう。

地域探究 I ～2年～

🔍 学習内容 (12月-1月)

それぞれのグループのプロジェクト。いよいよ完成した成果物を各所へ納品をしていきます。同時に、ICCに向けて発表の準備もしていきます。



起業＊カプセル工芸品



ポスター
名鉄犬山駅に掲示



CM＊TRAILBLAZER (革命者)
CM動画納品会

📌 取り組むにあたって

成果物の完成と納品が目前ですね。受け取る方の立場に立ち、最後の確認と仕上げを丁寧に行いましょう。ICC発表に向けても、学びを整理し、自分たちの言葉で責任をもって伝えられるように準備していきましょう。



茶道部＊新年のお茶会



ライフフィロソフィー
ペルーの方とライスプリンづくり



ライフフィロソフィー
市議会議員との対話



コミュニティビジネス
鵜飼い

地域探究 II ~ 3年~

🔍 学習内容 (12月-1月)

校内・校外でさまざまなプロジェクトの活動の大詰めを迎えています。ICCのためにPowerPointでのスライド作成もしていきます。



地産地消料理コンテスト
5位入賞 / 応募作品121点



ハートリンク
セラピードッグ体験会開催
〈わんとはーむさんご協力〉



竹あかり
〈INUYAMA YOI NO MICHさんご協力〉



うどちゃん

取り組むにあたって

いよいよ大詰めを迎えました。これまで自分で考え、動き、積み重ねてきた努力が形になった人もいれば、思うように進められず、満足できなかった人もいます。探究の深まりは人それぞれですが、最後までいい取り組み、自分の学びとしてしっかりまとめてICCに向けて準備していきましょう。

昨年度に引き続き！

マイプロジェクト アワード2025出場！



shake&watchでhappy



全国高校生MY PROJECTAWARD2025 ~AICHI Summit~ 今年度も出場しました！！

プロジェクト名：『ハートリンク』『引かナイト』『shake & watchでhappy』『PIKUTON』『カプセル工芸品』『MEIJI Re:Walk』の6組が書類選考を通過し、【AICHI Summit】に出場しました。スライド作成や発表の仕方など、最後の最後まで改良を重ね、本番では全員が立派にやり遂げました！また、2月に開催される【地域 Summit Advanced】に1組、【全国 Summit 選考】に2組がチャレンジするため、現在もチームが活動を続けています！

大会の様子を動画撮影！
WAVEの成田さんにご指導
させていただきました☆



3年学年主任から
あたたかいねぎらいのお言葉☆



引かナイト

長谷川侑風先生よりメッセージ

ついに1年間の探究の集大成となるICCの月となりました！！

皆さんが自分で考え、仲間と考え、一体どんなアクションを起こしてきたのか？とても楽しみです。さらに、今年は初めて全学年がそろってICCです。学びの集大成の場、この日が一つ区切りであり、そして次へのスタートの日になることを願っています。この時期になると、1年前と生徒の表情もがらりと変わり、何も言わずとも自分たちでどんどん考えて動き出すようになります。自分たちでは気づいていないかもしれませんが、君たちは毎日一歩ずつ確実に成長しています。自分の成長や次への目標が見つかる日になるといいですね。

長谷川侑風先生

